

「近江の 地獄めぐり」 ようこそ。

多賀町で来年3月から始まる「開運！近江の地獄めぐり」は、町の観光スポットを訪れながら、新たに用意されたさまざまな地獄を体験し、パワースポットの多賀大社にお参りするというユニークな企画だ。ひと足先に地獄を覗いてみた。

真如寺所蔵の「地獄絵図」(10幅)。



貴重な観光資源を公開！ 閻魔像や地獄絵図に感嘆

「お多賀さん」と呼ばれ、延命長寿や縁結びのご利益で知られる多賀大社の地で、なぜ「地獄」なのだろうか。実は多賀大社の表参道絵馬通りにある延命地藏尊には、冥土で人間の罪を裁く閻魔大王の像などが安置され、近くの真如寺には「地獄絵図」が収められている。

延命地藏尊の本堂は小さなお堂だが、中を覗くと仏像がずらり。真ん中に本尊の地藏菩薩、向かって左側には閻魔大王をはじめ、善悪を記録する俱生神などの像があり、右側には地獄の苦を救うとされる千手千眼自在菩薩が安置されている。その前に、地元で「三途河の姥」と呼ばれる老女の像もある。地獄の恐ろしさを伝えているのだそう。

真如寺の「地獄絵図」は通常、春秋、正月の特別公開に限って見ることができ、(この秋の公開は11月15日〜30日。住職の木村泰崇さんをお願いして、公開前に特別に見せていただいた。

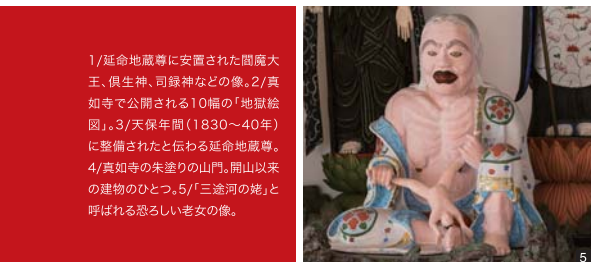
「地獄絵図」は10幅の掛け軸から成り、仏典のひとつ、十王経を元に描かれたもの。閻魔大王など10人の冥土の王が死後の人々を裁き、地獄で罰を受ける

人の姿が生々しく表現されている。舌を抜かれたり、火に炙られたり、針山を登らされたり…。見るからに痛々しい。

「この地獄絵図は1801年(享和元年)に描かれており、10幅すべてがきれいに保存された貴重な存在です。生前に良い行いをすれば死後は浄土へ、悪いことをすれば地獄に落ちるという浄土教の教えを、字が読めない人にも分かるように伝えていきます。初七日から三回忌までに十人の王に裁かれますが、これらの王は仏の化身です。10幅目の絵図は、阿弥陀様に救われている様子が描かれています」と木村さん。

地獄の有様をまじまじと見た後に、本尊の木造阿弥陀如来坐像(国指定の重要文化財)を拝んだ。その優しいお顔を見ていると、ありがたい気持ちがじわじわと込み上げてくる。

来年3月からスタートする「開運！近江の地獄めぐり」では、町の宝でもあるこの2ヶ所の「地獄」を公開するとともに、周辺の店舗などで新しく作る「地獄」を観光客らに体験してもらい、門前町を活性化させるのがねらいだ。





町内産のスギ丸太で制作された案内役の鬼の人形

延命地藏尊と真如寺に加え、「開運！近江の地獄めぐり」では、さらに新しい地獄スポットが体験できる。まず近江鉄道の多賀大社前駅に設けられた観光案内所で受け付けをする。そして願いを叶えてくれるという「叶♡多賀門」に願い事を書いた絵馬札を貼り付け、表参道絵馬通りを自由に散策しながら、お好みの地獄体験スポットに行くという流れだ。

例えば「猫舌地獄」ではグツグツ煮込んだ多賀名物の鍋焼きうどんに舌鼓。「地獄禁し近江牛肉まん」はアツアツのご当地肉まんをはお張るというもの。この他にも、自分の本当の姿が映るかもしれない閻魔鏡体験、強烈な甘さのスイーツ「大甘地獄」など、地域の商店の協力のもと、多彩な地獄体験が計画されている。

「近江の地獄めぐり」で 幸せな気持ちを味わって

このイベントの発案者、多賀町産業環境課の山本豪一さんは「表参道絵馬通りには叶♡多賀門や延命地藏尊、真如寺、多賀大社という観光資源があるので、これらを一直線で結ぶ仕掛けを考えました。観光客の皆さんに喜んでいただけるのはもちろん、町も活性化すれば嬉しいですね」と期待を膨らませる。多賀観光協会事務局長の土田雅孝さんも「門前町を通る人が増えれば、周辺の商店もより元気になるはず」と力を込める。

協同組合多賀門前町共栄会理事長の平居晋さんは「地獄という言葉には驚くかもしれませんが、美味しかったり幸せな気持ちになる地獄がほとんど。多賀大社のお膝元に、さまざまなお店や由緒正しいお寺があることを知っていただきたいです。多賀町産の多賀そばを食べられるお店もありますよ」とPRする。

地獄を訪ね歩いた最後はパワースポットの多賀大社でお参り。とくに今年は伊勢神宮が式年遷宮を迎え、その親神にあたる多賀大社は双方を参拝する「親子神様詣り」を勧めている。記念すべき年に訪ねれば、層の幸せを授かるそだ。



1/絵馬札を「叶♡多賀門」に貼り、地獄めぐりへ出発。2/表参道絵馬通りには名物・糸切餅を売る店や飲食店などが点在する。3/いくつかの「地獄」を体験して、最後に多賀大社を参拝。



・ Information 「秋の多賀の観光」 ・

■紅葉のライトアップ／多賀大社・大滝神社・高源寺・胡宮神社

11月15日(金)～11月30日(土) 日没～21時ごろまで

※この期間、真如寺では「地獄絵図」「木道阿弥陀如来坐像」が特別公開されます(拝観料200円)。

■「歩いてまいろう」多賀三社まわり

11月24日(日)小雨決行・雨天中止 午前9時20分多賀大社前駅集合、参加費は無料(当日受付) コース／多賀大社前駅→飯盛木→胡宮神社→檜崎古墳→大滝神社→梨ノ木→多賀町立博物館→多賀大社→多賀大社前駅

■第63回奉納「菊花展」／多賀大社境内

10月22日(火)～11月19日(火)

特報

～お多賀さんで開運祈願～
開運！近江の地獄めぐり

- 来年3月から開催予定
- 地獄めぐりコース／多賀大社前駅コミュニティセンター内観光案内所(受付)～叶♡多賀門(願掛け)～閻魔大王の審判～各種地獄体験～多賀大社参拝(開運)



多賀町のマスコットキャラクター「たがゆいちゃん」。多賀町のイベント、多賀大社の祭事などで会うことができる。